

陽菜編 序章（試し読み）

媚薬性感マッサージでイキまくり ～処女の連続絶頂～

序章 ～処女の秘めた欲望～

大学2年生の陽菜（ひな）は、見た目はふわっとしたロングヘアに柔らかな笑顔の癒し系女子。Instagramの投稿には「天使みたい」「守りたいこの笑顔」とコメントが溢れるほど可愛い。でも、女子校育ちの彼女には恋愛経験がまったくなかった。キスどころか、手を繋いだことすらない、完全な処女。それでも、心の奥底には誰にも言えない秘めた欲望があった。夜中、部屋の明かりを落として、こっそり女性向けのアダルト動画を見たり、エッチな官能小説を読みながら指を這わせたり……。

「女性用風俗って、どんな感じなんだろう……」
「優しいお兄さんに、たっぷり気持ちいいことしてもらったら……」
そんな妄想を繰り返しながら、自分で慰めるのが最近の日課だった。ただ、アルバイト代では女性用風俗の料金なんて到底出せない。
「いつか絶対、体験してみたい……」
そう思いながら、悶々とした日々を過ごしていた。
そんなある夜、Instagramをスクロールしていると、一つのアカウンドが目飛び込んできた。穏やかで大人っぽい笑顔の男性。
彼のプロフィールには「趣味：女性のストレス解消、心身の解放、性感マッサージ」って書いてあって、投稿には……彼が書いた官能小説の抜粋がいっぱい並んでる。

（……え、こんなエッチな小説書いてる人なんだ……
かっこよすぎる……めっちゃタイプ……）
胸がドキンって鳴って、指が勝手に震えた。
この人なら……私の妄想を、現実にしてくれるかも……？
その瞬間、私の好奇心に火がついた。
胸がドキドキして、指が勝手に動いちゃった。
「いつも投稿見てます！性感マッサージに興味があります」
……初めて、知らない人にDM送った。

第一章へ続く～